

Wayang Kulit

ワヤン・クリッ

～バリ島の人形影絵芝居～

12月16日（土）

みさと館 町民ホール

入場無料
申込不要

劇団：

ワヤン・トゥンジュク梅田一座

第一回 13:30～ ビマの鬼退治

第二回 19:00～ アルジュナの瞑想



親子で楽しめます。

主催：美郷町教育委員会



0855-75-1217

ワヤン・クリッとは

インドネシアの伝統的な影絵芝居のこと。主にインドネシアのジャワ島やバリ島で行われる。ワヤン (wayang) は影、クリッ (kulit) は皮を意味する。通常、人形遣い (ダランともいう)、演奏者、影絵師の補佐をする者で行われる。



一座のプロフィール

梅田英春が主催するバリ島のワヤン上演一座。主催者は1986年から1988年までバリ島の国立芸術大学およびタバナン県トゥンジュク村にてワヤンの修業を積み、帰国後、1995年に一座を立ち上げる。メンバーは梅田がダランとよばれる人形遣いとして、人形操作、語り、歌を一人で担当するほか、グンデル・ワヤンとよばれる小編成のガムランの伴奏を行うメンバー、またクテンコンとよばれるダランの二人の補佐により構成する。インドネシアの古語と日本語を用いた上演方法を生み出し、観客にもわかりやすいワヤンの上演を、日本各地で行っている。

人形遣いのプロフィール

静岡文化芸術大学教授、沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員。2021年から美郷町バリ文化振興アドバイザーを務める。



演目のあらすじ

第一回 ビマの鬼退治

～マハーバーラタ物語より



子どもでも楽しめる！

60分程度

ある村のはずれに鬼のバーカとその家来たちが住んでいた。年に一度、村人たちは鬼に山ほどの食べ物、いけにえを捧げなくてはならなかった。パンダワー族の勇者、ビマは村を苦しみから救うため、女性に変装して鬼退治に向かう。

第二回 アルジュナの瞑想

～マハーバーラタ物語より



子どもでも楽しめる！

90分程度

パンダワー族の武将アルジュナは、来るべきコラワー族との大戦争に備え、崇高なる神より天界の武器を賜るためにインドラキラの森で瞑想を行う。ところが、その瞑想を阻止しようとする魔物が巨大な猪となって、アルジュナに襲いかかる。さてアルジュナの運命はいかに…。

※ 上演前にストーリーの説明、人形の紹介、ワヤンの鑑賞の方法などの解説があります。